

教員とSCの協働のポイント

こんなことしてみてもいいですか？

調査研究の実践例をもとに作成しました

管理職のビジョン

学校課題の明確化、SCの勤務形態の明確化、
SCの業務内容の具体化、他の非常勤職員との役割の明確化等

ジョイニング

コーディネーター役の教員（教育
相談主任）が中心になりましょう

コーディネーター役教員がスケジュール調整をします

- SCの予定表を毎回作成します
- SCの勤務日のスケジュールを、コーディネーター役教員ができるだけ事前にSCに伝えます（メール、ファックスなどで）
- SCの相談予定を職員に周知します（相談予約表を職員室に置く、予定表を配布する）

教員とSCの人間関係を作ります

- SCと教員が気軽に話をします（教員から話しかけましょう）
- SCが各クラスの給食に参加します
- SCが年度初めに各教室を訪問し、児童生徒に自己紹介や面談方法など説明をします
- SCが保健室を訪れ、児童生徒と話をします
- SCが教員向けのお便りを出します
- 教育相談主任が、「SCが教育相談の技術を教員に教える」などの企画をします



児童生徒支援に必要な情報共有の仕組みを作ります

- コーディネーター役教員との打ち合わせの時間を確保します（SC勤務日の1校時など）
- 教育相談部会で話し合われたことを職員に周知します（ファイルを回覧するなど）
- カウンセリングの様子を記録し職員で共有します（情報共有シート、相談ノートなど）
- 年度初めや夏期休業中などに、SCと担任で情報の交換をします
- SCが授業参観を行い、児童生徒の様子を観察します
- SCが新入生全員の面談をします

教員の専門性

- ・学年学級経営
- ・教科指導
- ・集団の指導及び集団の中で個を生かす指導
- ・研修や集会などの企画、運営



コラボレーション

教員とSCのお互いの専門性を生かしましょう

教員とSCで授業実践・集会活動・校内研修をします

- SCが担任や養護教諭とTTで授業を行います（構成的グループ・エンカウンター、ピアサポート、ソーシャルスキルトレーニングなど）
- SCが集会で講話をします（全校集会、学年集会、学校保健委員会、保護者会など）
- SCが校内研修で、講師を務めます

SC参加の教育相談部会を開きます

- SCの活動を盛り込んだ教育相談年間指導計画を作成します
- チーム援助会議を開きます
- 教育相談部会では、ケース会議を開きます

教員とSCで児童生徒、保護者へのサポートをします

- SCが児童生徒理解のためのアンケートを行います
- SC勤務日の放課後にその日のカウンセリングの内容の確認をします（SCとコーディネーター役教員、担任、学年主任などで）
- SCが別室登校児童生徒と一緒に授業を受けたり集会に参加したりします
- SCが別室登校児童生徒の保護者「親の会」などを作り定期的に懇談会を開き

教員とSCと一緒に学校外活動を行います

- SCが教員の家庭訪問に同行します
- SCが教員の外部機関訪問に同行します

SCの専門性

- ・児童生徒、保護者へのカウンセリング
- ・教員へのコンサルテーション
- ・児童生徒のアセスメント（見立て）
- ・外部機関との連携



《学校教育相談体制》